

五月 皐月 さつき

新スポーツセンターを旧小川小跡地に？

この度の「熊本地震」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
そして、熊本同様に首都直下型地震が心配される千代田区では、耐震耐用年数の問題で改築予定のある区立スポーツセンター(以後、体育館)の移転改築に関する陳情が体育協会から提出され、委員会では候補地を検証し地元意見も聴取しながら審議しています。



現在の体育館について

- ① 昭和 47 年に竣工し 44 年が経過
- ② 平成 10 年 4 月～8 ヶ月間、体育館を休館し耐震補強
- ③ 平成 24 年 9 月～6 ヶ月かけ、老朽化に伴う全体的な改修工事
- ④ 今後の耐震耐用年数として区は 7 年間程度と説明

↑ 現体育館 ↓ 小川広場



移転改築及び現在地で改築について

1、移転改築(案)→体育協会からの陳情は『現地建替えでは、解体から竣工・開館まで数年間、各スポーツ団体並びに区民がスポーツに親しむ場を失うこととなり、私どもは、継続利用が可能となる移転改築が必須と考えております。区有の遊休土地の状況を勘案致しますと、神田小川町に所存する「小川広場」が移転改築用地として最適であります』(原文通り)(敷地面積 3,179 m²)

● 地元意見の一部 → ● 靖国通りスポーツ街含めた総合開発の一環で有れば良いと思う ● 3.11 の大災害時の経験から今の広場は必要 ● 休館の3年間くらいは我慢しなさい。

2、現在地で改築(案)→体育館を3年ほど休館し建て替える。その3年間は、上記②の経験を活かし区内小中学校等を融通し利用してもらう。(敷地面積 3,201 m²)

● 私の意見 → 現体育館敷地は ● 前面道路幅が 27m と広い ● 後方が川と首都高で規制が緩い ● 隣地は左が都水道局、右は民有地だが建設にあたり規制が少ない ● 容積率も 800% で高層化も可能 ● 体育協会が望む必要面積もクリアできる可能性が唯一有る場所と考える。
尚、他の候補地は道路幅や住宅が隣接し、日照や公開空地など地元との調整も難しいと考える。

3、その他の候補地として、下記の2ヶ所が有り今後現地調査にまいります。

(ア) 旧練成中学は、アーツ千代田が使用中 (敷地 3,724 m²)

(イ) 旧今川中学は、28年4月より保育園として使用中 (敷地 3,484 m²)



千代田区議会 議員 小林やすお